



第10回ファインバブル国際シンポジウム



ファインバブル— 広がる実用化と最新動向

日 時： 2017年12月6日(水) 10:00—17:30 (受付 09:30～)

会 場： 東京大学 弥生講堂 一条ホール

東京都文京区弥生 1-1-1, <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.html>

主 催： 一般社団法人ファインバブル産業会(FBIA)、国立研究開発法人産業技術総合研究所(AIST)
農林水産・食品産業ファインバブル研究開発プラットフォーム(FBPAF)

協 賛： ファインバブル学会連合(FBU)

後 援： 九州経済産業局(ファインバブル地方創生協議会協力機関)
独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)、株式会社日刊工業新聞社
農林水産・食品産業マイクロ・ナノバブル技術研究組合(MNB)

申込み：事前申込制(当日の申込みはお断りさせていただきます。)

参加費(資料費)：

非会員有料：12,000 円/人 正会員：1 名無料 2 名以降 5,000 円/人 賛助会員有料：5,000 円/人

(会員：事後振込 非会員：事前振込制。振込が間に合わない場合には当日受付にてお支払い下さい。領収証をお渡しします。)キャンセルによる返金は致しませんが、ご希望の方には後日資料を送付致します。

言 語： 日本語および英語 (同時通訳付)

開催趣旨：

ファインバブル技術は革新的技術であり、その利用範囲も洗浄分野、医療・薬品・健康分野、農業・水産分野、食品・飲料分野等非常に広範な可能性を有し、現在までに様々な分野においてその実用化が進む中、将来的にもグローバルな基幹産業の一つとなることが期待されます。

2013年にファインバブル技術の国際標準化を推進するISO 専門委員会 TC281 が設立されて以来、ファインバブルの産業分野での、応用は日本のみならず世界に広がりつつあります。

本シンポジウムでは、ファインバブル技術の応用分野の研究開発について、国内外の第一人者の方々より研究成果や最新動向についてご紹介いただきます。

会場内実機展示：

ファインバブル発生装置： IDEC、OK エンジニアリング、サイエンス、大生工業、東芝ライフスタイル、Ligoric

ファインバブル・アプリケーション計測装置：島津製作所、 ナノサイト(日本カンタム・デザイン)、 マイクロトラック・ベル

ポスター展示(研究開発プラットフォーム運営等委託事業)：

FBPAF、 IDEC、島津製作所、東芝ライフスタイル、トスレック、ナノサイト(日本カンタム・デザイン)

マイクロトラック・ベル、Ligoric、ワイビーエム、 FBU、 FBIA

申込み先：(申込み締切 12月2日(土))

正会員：<https://goo.gl/forms/Kr4sVRlul0mYSbUO2>

賛助会員：<https://goo.gl/forms/vxGkCpQcJnbz39ge2>

非会員：<https://goo.gl/forms/F0thbXqJ83RzLhiD3>

※受付確認のメールが ultrafinebubble@gmail.com より自動返信されますのでご確認をお願いします。上記 web サイトから申込みが出来ない場合にはご氏名、所属、役職、ご住所、メールアドレス、電話番号、懇親会参加有無を info@fbia.or.jp までお送り下さいませ。

お問合せ先：

一般社団法人ファインバブル産業会 事務局 原田 聖子

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-2-15 浜松町ゼネラルビル 4F TEL: 03-6432-4242 E-mail: info@fbia.or.jp

プログラム

時間	内容	
10:00-10:05	05分	開会挨拶 一村 信吾 FBIA 会長 国立大学法人名古屋大学 イノベーション戦略室長 教授
10:05-10:15	10分	来賓挨拶 中野 裕二 殿 経済産業省 産業技術環境局 国際標準課 統括基準認証推進官
10:15-11:00	45分	基調講演「ファインバブルサイエンスの日独加大学横断コンソーシアム」 寺坂 宏一 FBIA 理事 慶應義塾大学 理工学部応用化学科 教授
11:00-11:30	30分	「ファインバブル水の農業技術への応用」 Dr. Diana Chan Head, Centre for Aquaculture & Veterinary Science School of Applied Science Temasek Polytechnic Singapore (シンガポール)
11:30-	70分	休憩
12:40-13:25	45分	「ファインバブル水の種子発芽促進効果」 大下 誠一 FBPAF 会長 東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授
13:25-13:35	10分	フラッシュプレゼン / FB 計測機器・アプリケーション計測機器
13:35-13:49	14分	フラッシュプレゼン / FB 発生装置
13:49-	12分	休憩
14:01-14:31	30分	「ウルトラファインバブル/ファインバブルの測定技術及び医療分野応用に関する最新情報」 Dr. Stephen Ward-Smith, Chairman of ISO/TC281 Key Account Manager Malvern Instruments Ltd. (英国)
14:31-15:01	30分	「ウルトラファインバブル技術の洗濯機への応用」 内山 具典 東芝ライフスタイル株式会社 プロダクトクリエーションセンター 先行開発部
15:01-15:31	30分	「中国におけるファインバブル技術—水処理及び農業」 Dr. Li Zhaojun Professor, Institute of Process Engineering, Chinese Academy of Sciences. (CAS) (中国)
15:31-16:19	4分	アプリケーションショートプレゼン (応用事例)
	4分	Hawaii Department of Agriculture ハワイでのFB応用事例—魚の養殖と植物の生育
	4分	National University of Singapore 歯科インプラントを救助する新規の流水
	4分	富喜製作所 オゾンファインバブルによる脱色等
	4分	トスレック オゾン UFB による CIP 洗浄技術/非加熱殺菌技術
	4分	OK エンジニアリング FB を使用した養殖事例
	4分	堀場製作所 ファインバブル計測技術
	4分	サイエンス バスタブとシャワーでのファインバブルの使い分け
	4分	大生工業 ファインバブルの工業部品洗浄への適用
	4分	マルバーン 共振式質量測定法によるバブルと異物の識別測定
	4分	ワイビーエム 一次産業でのファインバブル活用事例
	4分	Ligaric 高速道路での活用展開及び各種洗浄事例
	4分	IDEC 炭化水素 UFB による機械部品洗浄
16:19-	11分	休憩
16:30-17:30	60分	パネルディスカッション「各国でのファインバブル応用事例の発展/標準化活動について」 ファシリテーター 一村 信吾 FBIA 会長 パネリスト 寺坂 宏一 FBIA 理事 慶應義塾大学 理工学部応用化学科 教授 大下 誠一 FBPAF 会長 東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授 西脇 智 東芝ライフスタイル株式会社 洗濯機事業部 商品企画部長 藤田 俊弘 FBIA 副会長 ISO/TC 281 国内審議委員会委員長 IDEC 株式会社 常務執行役員 技術戦略本部長 矢部 彰 国立研究開発法人産業技術総合研究所 特別顧問 ISO/TC281 WG 3 Convenor Dr. Diana Chan Head, Centre for Aquaculture & Veterinary Science School of Applied Science Temasek Polytechnic Singapore (シンガポール) Dr. Stephen Ward-Smith, Chairman of ISO/TC281 Key Account Manager Malvern Instruments Ltd. (英国) Dr. Li Zhaojun Professor, Institute of Process Engineering, Chinese Academy of Sciences. (CAS) (中国)

立食懇親会 時間: 17:40~ 場所: 同ホール 会費: 6,000 円(会員:事後振込制・非会員事前振込制:振込が間に合わない場合には当日受付にてお支払い下さい。当日領収証をお渡します。)※プログラム進行により、開始時間が予定より前後する可能性があります。